

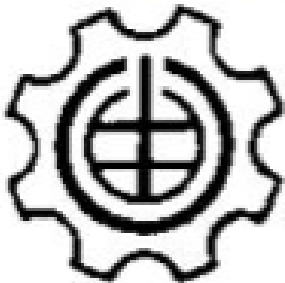
3年生 「学校の歴史を調べよう～取材して知らせよう～」

3年生は、総合的な学習の時間に学校運営協議会の会長で、由井第一小学校の卒業生でもある小俣 信次さんから学校や地域の歴史についてお話を伺いました。お話を聞きながらメモを取り、国語科の「取材して知らせよう」の単元と関連付けて報告文にまとめました。



朝礼風景 (明治44年11月撮影)

由井第一小学校は、今年で150年を迎えます。誕生は、1873年(明治6年)で、「北野学舎(きたのがくしゃ)」という名前でした。北野神社の境内の中に建てられました。ガラス窓の代わりに窓に障子が張られていたので、「障子の学校」と呼ばれていました。

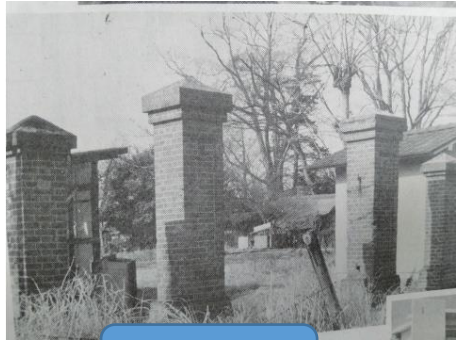
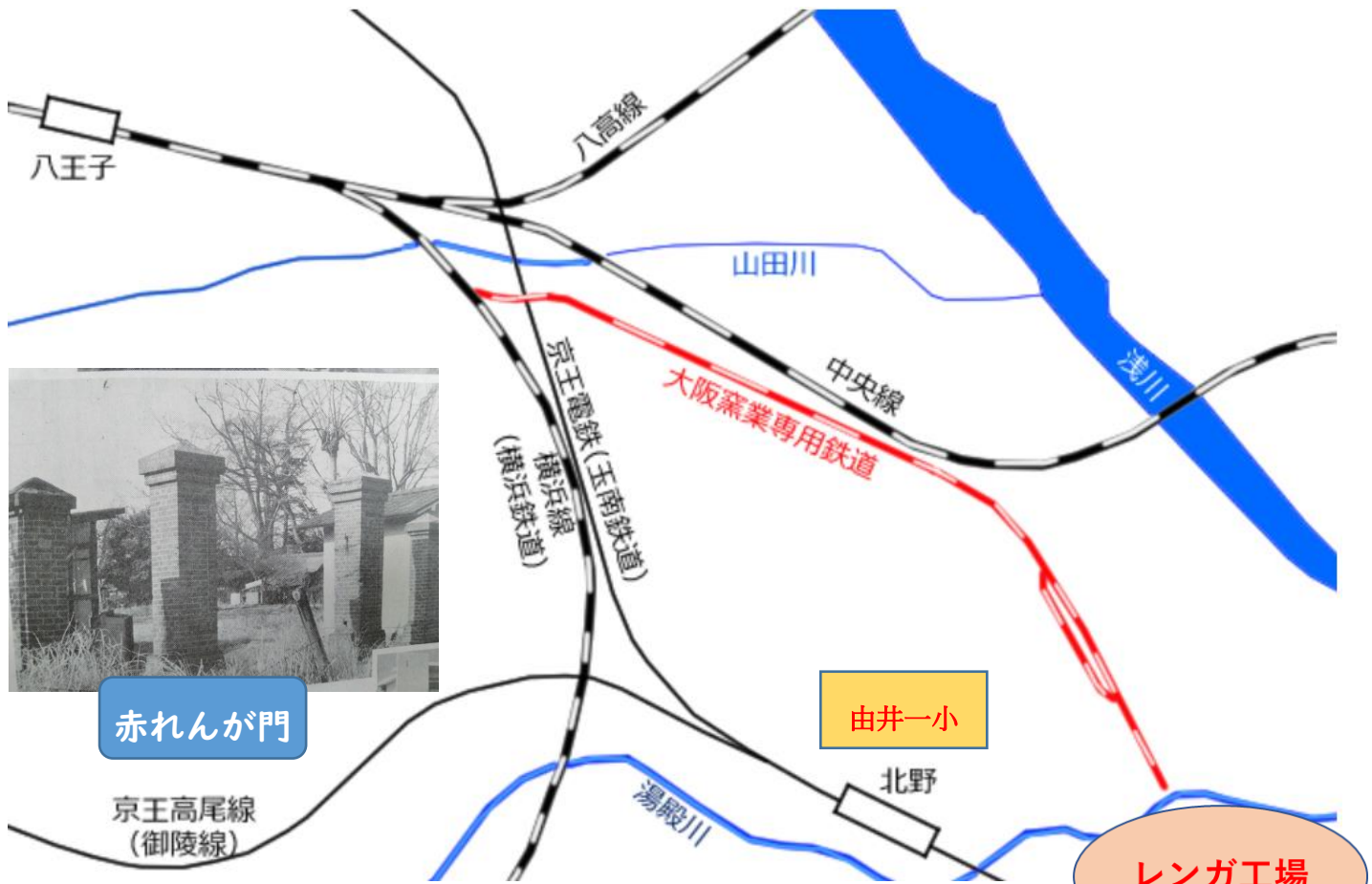


校章

昔はこの辺りは神奈川県でした。北野村と由井村が合併して「第一由井尋常小学校」という名前に代わりました。

大正6年に北野神社から、今の児童館や市役所北野事務所があるあたりに校舎を引っ越しました。この頃、今使っている校章ができました。



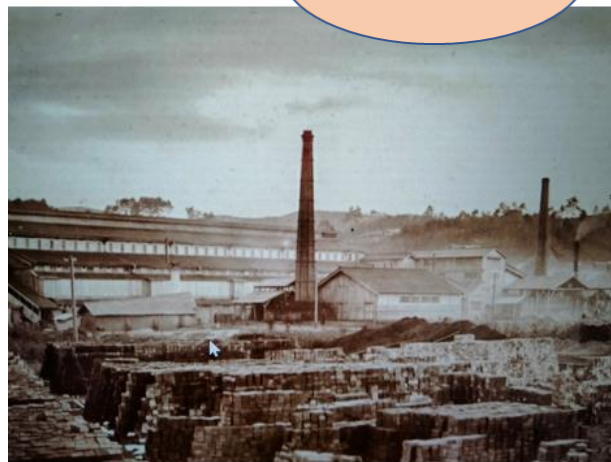


赤れんが門

京王高尾線
(御陵線)

長沼にレンガ工場がありました。当時、レンガは強くて丈夫ということでいろいろな建物に利用されていました。そのレンガを運ぶために、貨物列車が通る専用の線路が引かれました。

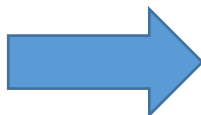
由井一小にあるレンガ門も、この工場で作られたものです。



レンガ工場



昔の北野駅



駅の高架工事 (平成元年)



新校舎の建設現場

今から60年前、2回目の引っ越しをして、今の場所に校舎が建てられました。鉄筋の校舎で、南側にベランダがありました。二つの教室が対になって一つのユニットを構成する旁から「バッテリー校舎」と呼ばれました。教室と廊下を分離させ、明るい教室になるよう工夫のある校舎だったそうです。



学校の周りは田んぼと畑。子供のころ、ここでよく遊んでいました。

以前使っていた木造校舎を、線路を引いて今の場所まで運びました。また、当時は石油ストーブを使っていて、煙突がありました。ストーブをつけるのが日直の仕事でした。



新校舎の建設現場

児童がどんどん増え、全校児童が1500人を超えました。一クラス40人で、1学年7クラスくらいあったと思います。休み時間になると校庭は子どもたちであふれ、陣取りのルールもありました。運動会の写真を見ても、人数が多かったことがわかんと思います。校舎をどんどん増築しましたが、それでも収まりきれず、プレハブ校舎も建てました。



昭和40年代に、校庭にブランコや鉄棒、上り棒などの遊具が設置されました。また、日時計や百葉箱も作られ、理科の勉強に使いました。



なにかちがうぞ！



西門と東門のブロック塀の高さを見ると、学校の敷地が傾斜しているということがわかります。校庭が平らになるよう土を入れました。

管理等の校舎の壁面に取り付けられた梁（はり）は、子供がどんどん増え、校舎を増築できるようにしたからです。東側の校舎には、梁はありません。こちら側には、増築できないためです。

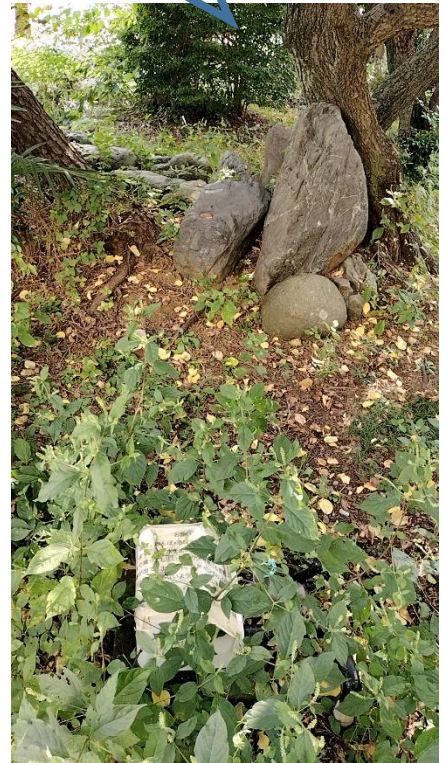




昔は、各階の廊下にダスト・シュートと呼ばれるごみ捨て装置がありました。ごみはチューブを通して下に集積されたのです。



昭和61年に掘り抜き井戸を掘り、池に給水を始めました。今も、学校の田んぼやじゃぶじゃぶ池に水を引いています。



小俣さんに 聞いてみよう！



小俣さんが小学生だった頃の給食について教えてください。

昔も給食はおいしかったし楽しみでした。今と違うところは、主食がご飯ではなく、毎日パンでした。



昔もクラブや委員会はありましたか？



ありました。ウサギやにわとりを飼っていたので、「飼育委員会」もありました。今も赤れんが門近くに「ウサギ小屋」が残っていますね。

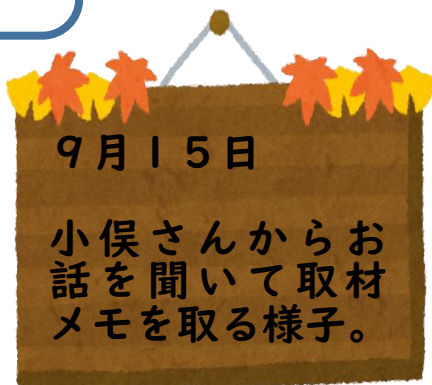


学校にプールはありましたか？



僕が子どものころ、プール開きの前にプールに魚を放し、釣り道具をもってきてプールで釣りをした思い出があります。

ありました。今のプールは平成20年にできたものですが、昭和42年に学校にプールができました。



学校ができた時はなかったけど、あとからつくられました。

石山はむかしからありましたか。



